

薬学・薬剤師に興味がある高校生の皆さんも必見!

「地域でスキルを磨き、共に生きる。明日の薬剤師像を考える」 第一回ぎふ薬学フォーラム2025

岐阜放送と文化放送キャリアパートナーズでは、岐阜薬科大学、岐阜医療科学大学薬学部特別協力のもと、薬剤師を目指し岐阜県内の薬学部で学ぶ薬学生や、進路を考える高校生の皆さんに、薬剤師の現状から将来展望についてや、薬剤師として地元岐阜県を中心に地域で働く意義や将来性などがわかる「第一回ぎふ薬学フォーラム2025」を開催いたします。高校生の皆さん、薬剤師という仕事のやりがいや魅力を覗いてみませんか。

2025年

参加無料

5月6日(火・祝)

13時～16時30分

受付12時～[2Fホール前]

じゅうろくプラザ
ホール及び大会議室

※岐阜駅北口徒歩2分

(岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11)

第一部 薬学特別対談 13時～13時40分

薬剤師の現状考察、そして薬剤師の明日を考える

今、薬剤師を取り巻く環境には、機械化、医療DX、AI技術の推進、特定医薬品不足、地域偏在など大きな変化と新たな変革が起きています。第一部では、これらの問題についての分析と解説を、厚生省で医療行政に関わる中井清人氏と医療ジャーナリスト田村良彦氏の特別対談を行います。次代の薬剤師を目指す薬学生に期待し求めること、その将来性などについての提言をいただきます。

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課長
薬剤師・薬学博士

中井清人氏

平成24年 医薬食品局総務課薬事企画官(薬剤師政策を担当)

平成26年 保険局医療課薬剤管理官(薬価、調剤報酬を担当)

平成28年 国立がん研究センター研究管理部長(がん研修の推進)

平成29年 医薬・生活衛生局医療機器審査管理課長

(医療機器等の承認審査を担当)

令和2年 医薬品・医療機器等の市販後安全対策担当課長

令和5年 現職(医薬品審査管理課長)

特別講師



聞き手



医療ジャーナリスト

元読売新聞東京本社編集委員

田村良彦氏

1986年早稲田大学政治経済学部卒、同年読売新聞東京本社入社。

1997年から編集局医療情報室(現・医療部)で連載

「医療ルネサンス」「病院の実力」などを担当。

2019年から読売新聞東京本社メディア局専門委員(ヨミドクター担当)

この間、ベテラン記者として医療の現場、医療従事者の現状や国の

医療行政などを精力的に取材、読売新聞本誌やヨミドクターなども担当。

2022年8月 読売新聞東京本社を定年退職。

現在医療ジャーナリストとして活躍中。

第二部 プレゼン&トークセッション

13時50分～14時40分

地域医療を守る薬剤師の力とは

岐阜県内を中心に特色ある活動領域で活躍する3名の薬剤師が登場。それぞれの方の業務内容を紹介いただくとともに、これからの薬剤師が地域医療に果たす使命や役割などについて語っていただきます。



「モバイルファーマシー(移動薬局)」推進と
充実の目的と意義とは

林 秀樹氏 岐阜薬科大学教授・薬剤師・薬学博士



救命救急(特に災害時)医療チームに
おける薬剤師の役割について

鈴木 景子氏 岐阜薬科大学実践薬学研究推進センター助教
救急認定薬剤師



地域の健康長寿を守り、支える
町の薬局の使命と役割とは

児玉 豊氏 大和屋薬局代表・海津養老薬剤師会会長

薬学に興味があり、将来薬剤師を目指そうと考えている高校生の皆さん。

きっと何かを掴むことができる!

是非とも参加してみてください。

参加希望の方は右のQRコードから予約をお願いします。(定員100名予定)



[共催]岐阜放送/文化放送キャリアパートナーズ

[特別協力大学]岐阜医療科学大学薬学部/岐阜薬科大学

[後援]岐阜県/岐阜県薬剤師会/岐阜県病院薬剤師会/岐阜新聞社 [特別協賛]スギ薬局/中部薬品/富士薬品グループ(ユタカファーマシー・東海セイムス)

[協賛]JA岐阜厚生連/たんぼぼ薬局/トーカイ薬局/松波総合病院/ピノキオ商事 [企画・運営]岐阜放送営業局/ブンナビ薬学プロジェクト

お問い合わせ[事務局] E-mail:bunnabi_yakugaku@careerpartners.co.jp